

経営者向けリスキリングワークショップの結果について

茨城県では、デジタル化や脱炭素化により、産業構造が抜本的に変化する中で、本県が持続的な発展を遂げるため、成長産業・分野への円滑な労働移動や、県内産業の生産性向上につながるリスキリングの推進に取り組んでおります。

昨日(6/27)、「県内企業経営者様向けのワークショップ ～チャットGPT時代を生き抜く成長戦略～」を開催し、リスキリングの重要性やその取り組み方についての講義や参加者の方々の自社課題について意見交換が行われました。

記

1 開催概要

日 時	令和5年6月27日(火) 13:00~16:00
会 場	公益財団法人 茨城県開発公社 1階中会議室
対 象	茨城県内に本社または事業所を持つ経営者・役員の方
参加者	29名
主 催	茨城県

ワークショッププログラム

- 第1部 技術的失業と海外最新テクノロジー動向
- 第2部 リスキリングとは?
ワークショップ①:「Chat GPTが与える影響」のSWOT分析
- 第3部 リスキリング先進事例のパターン分類
- 第4部 個人がリスキリングを実践する10ステップ
ワークショップ②:「自社人材」のSWOT分析と取り組むべきリスキリング施策

2 ワークショップ結果の概要

(1) 講義要旨

(講師:一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ代表理事 後藤宗明氏)

- 世界経済フォーラムの雇用予測によれば、今後5年間で6,900万件の雇用が創出される一方で、8,300万件の雇用が消失する見通し。
- リスキリングは企業が主体となり、経営戦略と一体的に「業務」として取り組むべきもの。単に学ぶことではなく、新しいスキルを身に着け、実践し、新しい業務や職業に就くことを指す。
- 国内外においても、例えば、AT&Tやリーバイス、西川コミュニケーションズ、石川樹脂工業のように、先進的な取り組みが進んでいる。
- 経営者・役員のコミットのもと、DX推進等を担う部署や人事部の連携を密にし、将来、自社が向かう方向性やスキルを明確にするとともに、個人のキャリアパスとしっかりとすり合わせながら、取り組むことが肝要。

(2) 参加者の感想等

- ・リスクリングとは何かといった基本的なことから、実際に取り組むべき手順が明確になった。リスクリングは、企業として成長分野へ進出するための人材育成につながるものだと認識した。
- ・Chat GPT は、情報収集や調査・審査などの業務効率化や新たなアイデアの創出、異業種への進出機会の増加が期待される一方、コミュニケーションが減り、人と向き合う力が減る、企業間競争の激化につながる点が懸念されると感じた。
- ・取り組むべきリスクリング施策として、まずは、スキルを可視化したスキルマップを作成するとともに、社員に学ぶ機会を提供し、自発的な学習を促すことが重要。

3 写真



リスクリングワークショップの様子